

一緒に活動を進めたい

藤木千草（ワーカーズコレクティブネットワーク ジャパン代表）

ワーカーズ・コレクティブ ネットワーク ジャパン（WNJ）も労働者協同組合のみなさんと同じようにワーカーズコレクティブ法をつくる活動を10年以上前からしております。

一本化してやらないと、なかなか実現がむずかしいのかなと感じています。一緒に今後の活動を進めて行けたらと思います。

WNJに加入しているワーカーズの団体は409。メンバーは約1万人、2004年度の総事業高は約105億円です。小さな規模でたくさんの方のワーカーズがあります。

私たちの事業は協同組合の精神に基づき地域のニーズに応える事業体を自ら市民がおこなっています。

家事援助、介護、保育、安全な食材で届けるお弁当、化学物質を使わないで家を建てる工務店、移動サービスなどもしています。

こういった事業がまちを元気にしていくと思いますし、きびしい少子・高齢社会を乗り切るには、協同組合が不可欠です。しかし、それを後押しする法律がまだありません。

私たちが目指す法律は、自分たちが出資する 雇われないで働く 非営利団体である

相互扶助の精神で地域社会に貢献する事業を行う 税制上の優遇措置がある 届け出により成立する 届け出情報の公開、という特

徴をもっています。

企業組合法人では非営利、地域貢献の視点がない。NPO法人では出資ができず、雇用関係を結ばなければな

りません。公益法人改革の流れに期待した時期もありましたが、私たちが使えるものとはなりません。

どうしてもワーカーズ・コレクティブ法、協同労働法をつくりたい。ぜひ連携していきましょう。

今の国会の状況を見ると、本当に力を合わせていかなければと思います。本日を機会に、一緒に議論しながら良い法律が作れたらと思います。

